

◆医療・福祉マネジメント専攻 修士課程

□演習科目(専門科目)

科目名	ケースメソッド 演習	2 単位
担当者	篠田道子、中島民恵子、木村圭佑(非常勤教員)	
テーマ	ケースメソッド 授業を運営し、討論から学ぶ価値を理解する。	
開講形態	全回ハイブリッド形式	
科目のねらい	<p><キーワード> ケースメソッド、ファシリテーションスキル、マネジメント、ディスカッションリード 計画、ケース教材、学びの共同体</p> <p><内容の要約> 多様な立場、異なる背景を持つ院生が、ケース教材等を使った討論を通じ、実践力(理論的知識と実践的な知見)の向上を目指す。医療福祉現場における集団運営に必要なコミュニケーション能力、多面的な問題分析力や解決策の提案、マネジメント やファシリテーション能力を開発することを目的とする。また、ケースメソッド 演習の特徴である双方向性、創発性、協働性を十分に引き出し、学習者の実践力を育むために、クラス内で「学びの共同体」が作れるよう、参加者と教員は努力することが求められる。</p> <p><学習目標> ・ ディスカッションリード 計画を作成し、ファシリテーションスキルを活用することで、ケースメソッド 授業を運営できる。 ・ 多面的な問題分析力や解決策の提案、批判的考察力などを身につける。 ・ 討論から学ぶ価値が理解できる。</p>	
内容	<p>【 社会福祉領域】 医療保健福祉サービスの供給主体としての地方自治体、非営利組織のマネジメントについて、ケース教材を用いて検討する。具体的には、地域で発生している社会的排除等の福祉問題の解決方法、地域福祉計画や地域住民参加など、地域福祉システムの経営、運営、開発の視点から検討する。</p> <p>【 医療福祉サービス領域】 医療福祉サービスにおける支援の過程、チームやネットワーク、組織運営などについてケース教材を用いて検討する。医療機関・福祉施設・在宅サービス・民間組織でのミドルマネジャーの役割やファシリテーションのあり方を考える。</p> <p>【 医療・介護・福祉経営領域】 社会福祉施設や医療機関、小規模事業所のマネジメント(管理・運営・経営)を取り扱ったケース教材を用いて、組織における意思決定やリスクマネジメント、人材育成など幅広い視点からマネジメントを考える。</p>	
授業の進め方	<p>授業日: 4月12日(オリエンテーション・ケース1)、4月26日(ケース2)、5月17日(ケース3)、6月7日(ケース4: ケース教材の試運転)、6月21日(ケース5)、9月20日(ケース6)、10月11日(ケース7)、11月1日(6限のみ・まとめ)</p> <p>授業の運営方法: ①個人学習、②グループディスカッション、③クラスディスカッション、④振り返りの4段階とする。</p> <p>開講形態: ハイブリッド 授業を基本とする。具体的な進め方は授業の初日に説明する。ただし、ディスカッションリードまたはボードライティング(板書)を担当する院生は、名古屋キャンパスに参集すること。</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に配布したケース教材を読み、課題シートに自分の考えをまとめ、グループ討議で発言できるように準備しておくこと ・ ディスカッションリードとボードライティングを担当する院生は、「ディスカッションリード 計画」「ボードライティング計画」を作成するので、担当教員と事前に相談すること。 	
本科目の 関連科目	基礎演習(ケースメソッド 演習)	
成績評価方法 と基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平常点(70点): 討論への参加状況(場作りの貢献度や積極的な発言など)、課題シートの提出状況を勘案して総合的に評価する。 2. その他(30点): 2つの方法から選択する。①ケース教材の執筆。ケースとして提出されたものは「ケース教材の試運転」を経て、次年度以降の授業で活用することも想定している。②ディスカッションリード やボードライティングのいずれかを経験する。詳細は授業初日に説明する。 	